



財団法人 北海道建築指導センター

〒060-0004 札幌市中央区北4条西5丁目1番地
三井生命札幌共同ビル3階
TEL011-241-1893 FAX011-232-2870

URL <http://www.hokkaido-ksc.or.jp>

北方型住宅賞

応募作品集

2007年度版



(財)北海道建築指導センター



(財)北海道建築指導センター
理事長 千葉 純

はじめに

北海道では、昭和63年から産学官が一体となって、豊かな住まいづくりの実現を目指し、「北方型住宅」の開発・普及を進めてきました。

これまでの普及推進により、住宅の耐久性や省エネルギー性などの性能向上、技術力の向上、景観への配慮など住意識の向上といった成果が得られてきましたが、近年の社会情勢の変化に伴い、少子高齢化への対応や、環境との共生、地域産業の活用など住宅に求められる内容も変化してきました。

このような状況に対応しユーザーの方々が安心して住宅を取得できるよう、これまでの北方型住宅を次世代へ継承し、北方型住宅サポートシステムによる維持管理なども含めた「新しい北方型住宅」の展開を進めています。

当センターでは、平成2年度から「北方型住宅」の啓発普及の推進に努めて参りましたが、平成17年4月より「新しい北方型住宅」の登録・保管を行なう機関として北海道より指定を受け業務を開始しています。

また、平成18年度は、センター創立40周年の記念事業として、「新しい北方型住宅」の一層の普及促進を図るため、地域の気候・風土を生かした良質な資産となる、優れた北方型住宅を顕彰する「北方型住宅賞」を実施したところです。

応募者も札幌市をはじめ全道各地から23件のご応募をいただき、北海道工業大学環境デザイン学科大垣主任教授を委員長とする審査委員会を開催し、最優秀賞1点、奨励賞1点が選ばれました。

ここに昨年度実施した「北方型住宅賞」の応募作品をまとめ「新しい北方型住宅」の更なる普及啓発や一般の方々をはじめ、住宅専門の技術者や施工者の方々にも参考となる「北方型住宅賞」の作品集を作成しました。

この作品集により「新しい北方型住宅」に対するより一層のご理解と北方型住宅サポートシステムの活用による良質な住宅建設や普及が一段と促進されることを心から願うところであります。

平成19年12月

C O N T E N T S

はじめに —————2

I 北方型住宅賞

北方型住宅賞の趣旨 —————4

北方型住宅賞の応募要項 —————4

北方型住宅賞の開催結果 —————4

北方型住宅賞の審査委員 —————5

北方型住宅賞の講評 —————5

平成18年度北方型住宅賞応募市町一覧—————6

II 応募作品

北方型住宅賞 最優秀賞 —————8

北方型住宅賞 奨励賞 —————9

北方型住宅賞 応募作品 —————10

III 参考-北方型住宅サポートシステム

北方型住宅 —————20

北方型住宅サポートシステム —————21

北方型住宅サポートシステム活用のQ&A —————22

北方型住宅の登録・保管 —————23

北方型住宅賞の趣旨

北海道では、昭和63年から産学官が一体となって、豊かな住まい・住まいづくりの実現を目指し、「北方型住宅」の開発・普及を進めてきました。

これまでの普及推進により、住宅の耐久性や省エネルギー性などの性能の向上、技術力向上、景観への配慮など住意識の向上といった成果が得られてきましたが、近年の社会情勢の変化に伴い、少子高齢化への対応や環境との共生、地域産業の活用など、住宅に求められる内容も変化してきました。このような状況に対応し、ユーザーの方が安心して住宅を取得できるよう、これまでの北方型住宅の性能の維持・向上しながら、次世代へ継承し、サポートシステムによる維持管理なども含めた住まいづくりに向けて見直しを行い、「あったか 長持ち ともに育む北の住まい」を目標像とする「新しい北方型住宅」の展開を進めております。この度、一層の普及促進を図るため、優れた北方型住宅を表彰する「北方型住宅賞」を実施することといたしました。

北方型住宅賞の応募要項

- 応募対象**：平成17年4月～平成18年12月までの間に北方型住宅として登録した住宅及び登録を予定する住宅
- 応募資格**：応募者は建築主とし設計者や施工者の同意を得て応募
- 応募期間**：平成18年6月1日（木）～平成18年10月31日（火）
- 応募方法**（提出書類等）
- ①応募対象ごとに、「北方型住宅賞応募用紙」及び「配慮した項目説明用紙」を提出
 - ②北方型住宅サポートシステムによる「基本シート」及び「基準シート」を提出
 - ③設計図書（配置図、各階平面図（1／100～1／50程度）、立面図（2面）、配慮した項目に該当する詳細図面などをA3版の用紙に貼付して提出
 - ④外観等の写真「外観写真2面（登録住宅）、パース等（未登録住宅）及び室内写真2面（居間等）」をL版によりA3版の用紙に貼付して提出

○**審査方法**：応募方法の提出書類等の①～④による書類審査により入賞作品を決定

- **賞** ：最優秀賞1点 賞 状 + 副 賞 30万円
奨励賞1点 賞 状 + 副 賞 10万円
（それぞれ、建築主、設計者、施工者を表彰。なお、副賞は建築主に贈呈）

- 主催・後援**
- | | |
|-----|--|
| 主 催 | 財団法人 北海道建築指導センター |
| 共 催 | 北 海 道 |
| 後 援 | 社団法人 北海道住宅建築協会 社団法人 北海道建築士会
社団法人 北海道建築設計事務所協会 社団法人 日本建築家協会北海道支部
社団法人 北海道建築工事業組合連合会 |

北方型住宅賞の開催結果

○**審査委員会**：平成18年11月22日 ホテルポールスター札幌

○**表 彰 式**（結果発表）
平成18年12月20日 札幌ガーデンパレス

○**応募作品**：23件

○**受賞作品**：最優秀賞1点（所在地…豊富町）、奨励賞1点（所在地…札幌市）が選ばれる

北方型住宅賞の審査委員

- | | |
|-----|--------------------------------------|
| 委員長 | ………大垣 直明(北海道工業大学環境デザイン学科 主任教授) |
| 委 員 | ………小倉 洋一((社) 北海道建築設計事務所協会 技術委員会 委員) |
| 委 員 | ………早川 陽子((社) 北海道建築士会 女性委員会 委員長) |
| 委 員 | ………瀧田 裕道(北海道建設部住宅局建築指導課 課長) |
| 委 員 | ………宮内 孝(北海道立北方建築総合研究所居住科学部 部長) |
| 委 員 | ………辻 博司((財) 北海道建築指導センター 常務理事) |



表彰式の講評

北方型住宅賞の講評

応募作品は23点であったが、ハード面だけでなく外観デザインや内部空間の豊かさなど、優れた作品が多く見られた。その中で受賞した2作品は、審査委員全員から高い評価を受けた。最優秀賞の高橋さんの住宅は外観デザインの質の高さに加えて、木質を多用した柔らかで明るい室内空間、居間—ウッドデッキ—菜園とつながる一体的な空間の広がり（このウッドデッキはこども達の遊び場、友人達との集まりの場として活用されている）など、北国らしい生活の展開が期待される作品である。奨励賞の芥川さんの住宅は、鋭角な傾斜屋根と南面に大きく連続するガラス面で構成された斬新な外観デザインに加えて、開放的なリビングルームと吹き抜けでつながる一体空間は「家族4人が気配を感じながらくらす」（コンセプト）を見事に表現している。今後は、北方型住宅の登録数と応募作品が大きく伸びることを期待したい。

（委員長：北海道工業大学環境デザイン学科主任教授・大垣直明）



審査委員会①



審査委員会②



表彰式

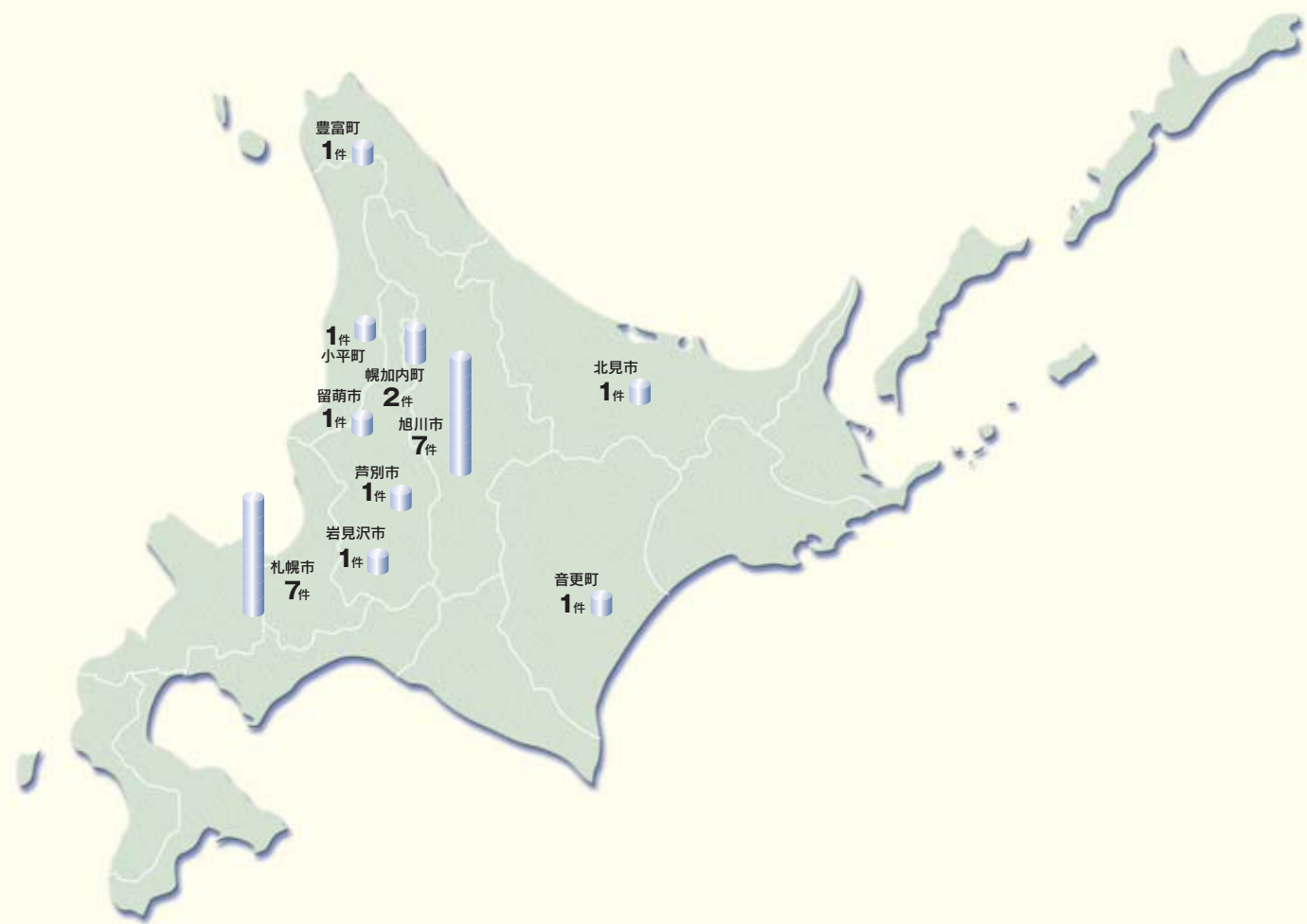


北方型住宅賞最優秀賞の授与



北方型住宅賞奨励賞の授与

平成18年度「北方型住宅賞」応募市町一覧（23件）



II 応募作品集

参加者		所在地
最優秀賞	1	豊富町
奨励賞	2	札幌市
作品	3	札幌市
作品	4	札幌市
作品	5	札幌市
作品	6	札幌市
作品	7	札幌市
作品	8	岩見沢市
作品	9	芦別市
作品	10	幌加内町
作品	11	旭川市
作品	12	旭川市

参加者		所在地
作品	13	旭川市
作品	14	旭川市
作品	15	旭川市
作品	16	旭川市
作品	17	旭川市
作品	18	留萌市
作品	19	小平町
作品	20	北見市
作品	21	音更町
作品	22	札幌市（作品掲載なし）
作品	23	幌加内町（作品掲載なし）

3つの安心を備えた家、それが北方型住宅です！

- 安心1

北方型住宅は、これからの北海道の住まいに必要な基本性能を備えています。
※4つの基本性能とそれに基づく具体的な基準が定められているから安心。
- 安心2

北方型住宅は、手間いらずのシステムで家づくりの不安を解消し、資産価値を維持します。
※「北方型住宅サポートシステム」の導入と北方型住宅の登録をするから安心。
- 安心3

北方型住宅は、公的機関認定の技術者による設計・施工を義務づけています。
※BISまたはBIS-Eと呼ばれる資格者が設計・施工に携わることを義務づけているから安心。

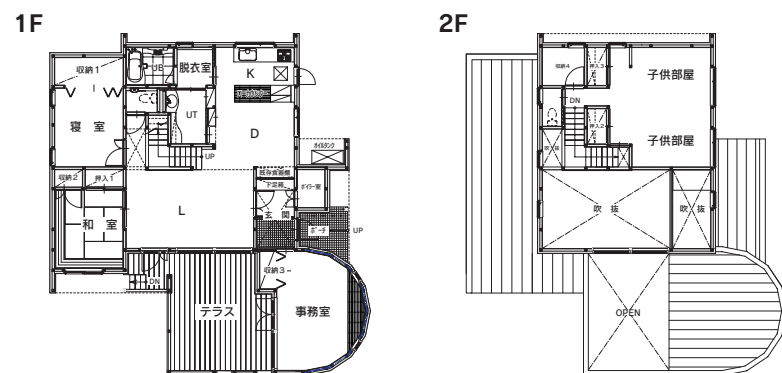
3つの安心を備えた北方型住宅を建てられ、北方型住宅賞へ応募された作品の紹介をします。

北方型住宅 最優秀賞

■家族構成 大人／2人 子ども／2人



■平面図



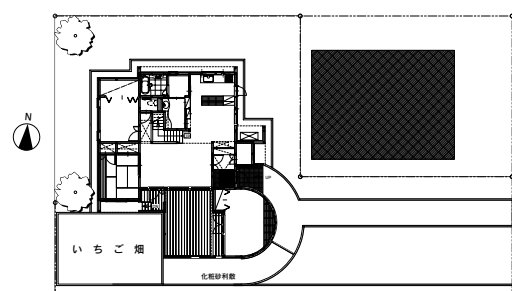
■住宅の概要

所在地／豊富町
 設計者／(有)アーキシップ・アソシエイツ
 施工者／(有)湊谷建設
 敷地面積／589.82m²
 延べ床面積／162.57m²
 構造・階数／木造2階建

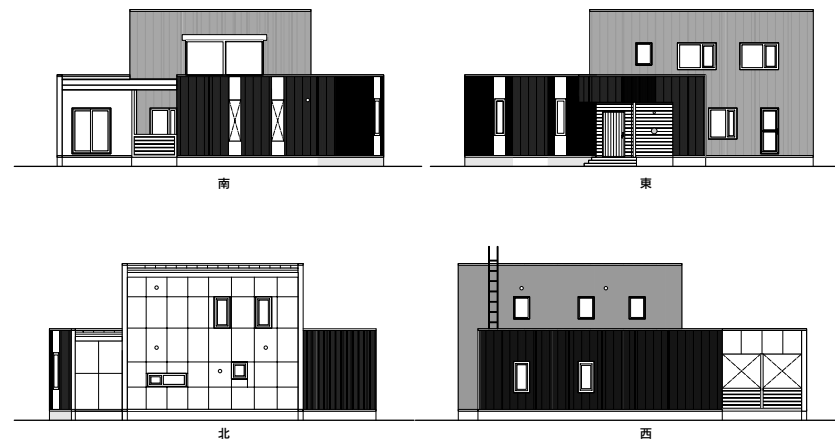
【設計趣旨】

この住宅は、道北の豊富町の中心市街地に建設された。外観デザインは施主の仕事上から様々な鋼板外皮による外観となっているが、羽目板や塗り壁により柔らかさを与えている。室内は吹き抜けの居間を中心に明るい空間となっている。R壁に囲まれたオープンテックは、子供の安全な遊び場として、さらには、友人たちの集い場とした。

■配置図



■立面図

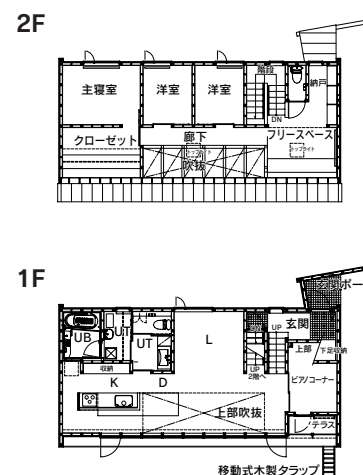


北方型住宅 奨励賞

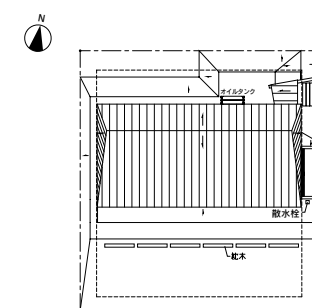
■家族構成 大人／2人 子ども／2人



■平面図



■配置図



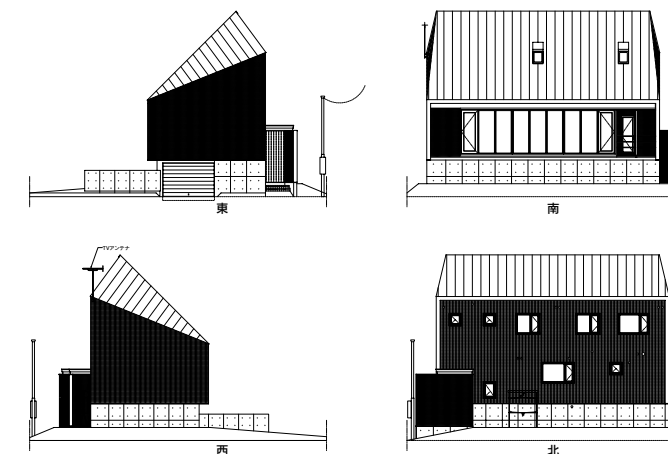
■住宅の概要

所在地／札幌市
 設計者／Sa design office 一級建築士事務所
 施工者／岩田住宅商事(株)
 敷地面積／237.00m²
 延べ床面積／156.24m²
 構造・階数／木造地上2階 地下1階

【設計趣旨】

ひとつ屋根の下、家族4人が互いの気配を感じながら暮らす住宅です。閑静な住宅街でゆとりのある敷地を活かし大きな屋根をかけました。南の庭は、夏には家庭菜園、冬には堆雪スペースになります。ひと冬の屋根からの積雪は高床の高さに達し、リビングにつながる冬の庭となります。特徴的な屋根の形は、内部でも重要な役割を果たしています。吹き抜けを中心として、ダイニング、リビング、フリースペース、子ども部屋がつながる構成となり、吹き抜け上部の斜め天井に反射した音や光により、家中に生活の気配を伝えます。

■立面図



応募作品 NO3



■住宅の概要

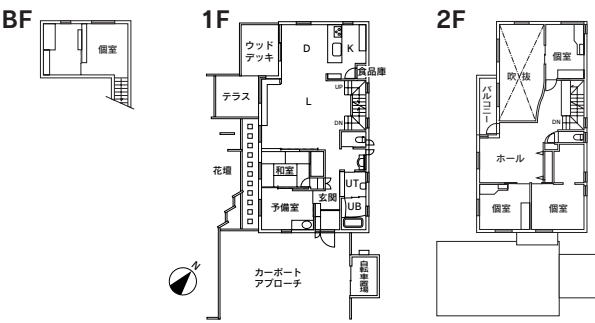
所在地／札幌市
設計者／(有)奈良建築環境設計室
施工者／拓友建設(株)

敷地面積／273.83㎡
延べ床面積／169.31㎡
構造・階数／木造地上2階、地下1階
家族構成／大人2人 子ども3人

■設計趣旨

9才、5才、1才の3人の子も達が元気に走り回り成長していくための住宅。
敷地の西側に川が流れ、眺望も日当たりも川べりの方が恵まれている。
このため、川側の方面に地下室を設け、その上に大きな吹抜けのあるLDKと
ウッドデッキを設け、家族全員がくつろげる住宅になっている。

■平面図



応募作品 NO4



■住宅の概要

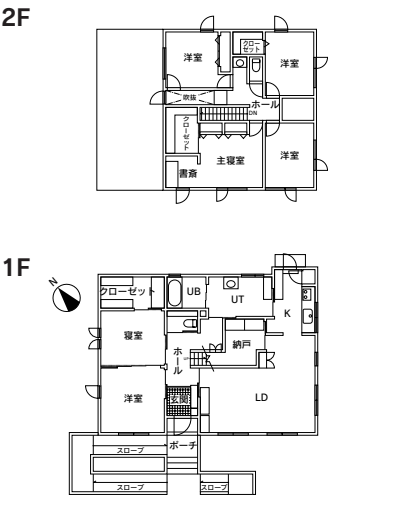
所在地／札幌市
設計者／勇和建設(株)
施工者／勇和建設(株)

敷地面積／290.79㎡
延べ床面積／166.98㎡
構造・階数／木造2階建
家族構成／大人2人 子ども2人

■設計趣旨

ご主人のご両親と将来同居予定。そのお父さんは、
障害を持っており、車イスの利用を想定。屋外から
屋内のいたるところへ車イスでの移動を可能にした。
また、乳幼児のお子さんが二人であることにも配慮
した。南東角地の抜群の日当たりを十分に生かした
パッシブソーラー的配慮も加えた。

■平面図



応募作品 NO5



■住宅の概要

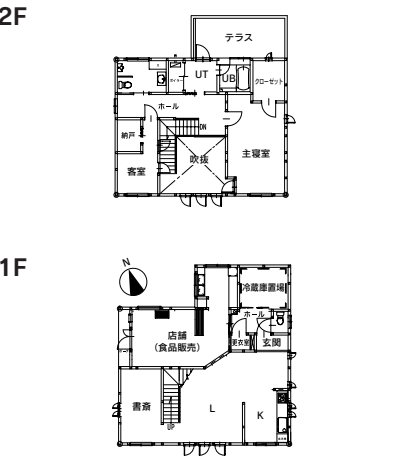
所在地／札幌市
設計者／メデル銘名建業(株)
施工者／メデル銘名建業(株)

敷地面積／200.69㎡
延べ床面積／159.28㎡
構造・階数／木造2階建
家族構成／大人2人 子ども0人

■設計趣旨

☆環境負荷の低減を目的に
①断熱を次世代省エネルギー基準を目指しました。
②暖房・給湯をヒートポンプを使用することで環境
負荷の低減を図りました。
③太陽光発電を設置しCO₂削減を図りました。

■平面図



応募作品 NO6



■住宅の概要

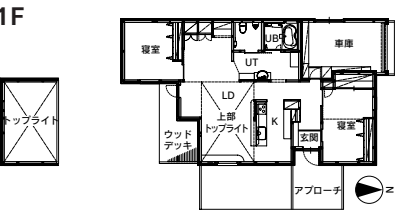
所在地／札幌市
設計者／(有)奈良建築環境設計室
施工者／拓友建設(株)

敷地面積／228.46㎡
延べ床面積／112.57㎡
構造・階数／木造1階建
家族構成／大人2人 子ども0人

■設計趣旨

道路を挟んで北側には街路樹が、東側には公園の緑
が広がる敷地に、白糠町で長年暮らしていた夫婦が
リタイヤ後、札幌に移り、老後を過ごすための住宅。
平屋で、LD-K-UTが行き止まりなく回れるよう
に計画されている。

■平面図



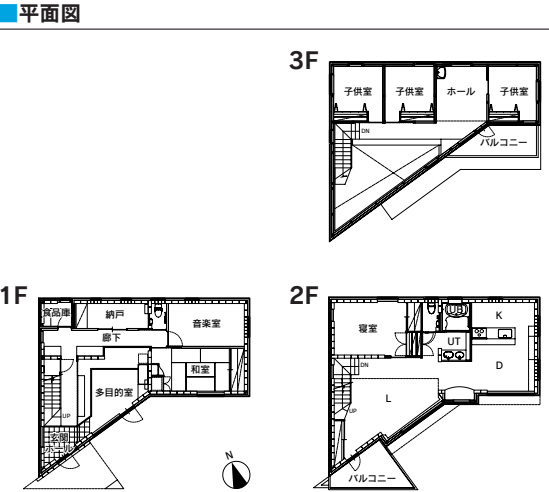
応募作品 NO 7



■住宅の概要		
所在地	札幌市	敷地面積／408.92㎡
設計者	／(有)奈良建築環境設計室	延べ床面積／233.25㎡
施工者	／拓友建設(株)	構造・階数／補強コンクリートブロック造 地上3階建
家族構成／大人2人 子ども3人		

■設計趣旨

大きな公園に隣接する、庭の広い住宅。この住宅の南面の左側は、外壁が真南を向くように、三角形に張り出している。公園や庭を眺め、内部空間に広がりをもたせ、日射をコントロールして冬暖かく、夏涼しい家にするための工夫である。



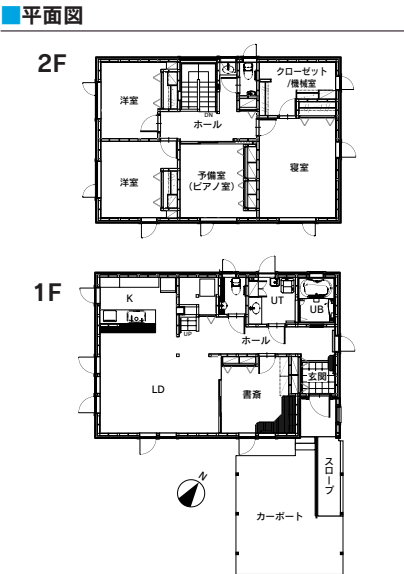
応募作品 NO 8



■住宅の概要		
所在地	岩見沢市	敷地面積／330.58㎡
設計者	／(株)宮崎組	延べ床面積／180.23㎡
施工者	／(株)宮崎組	構造・階数／木造2階建
家族構成／大人2人 子ども2人		

■設計趣旨

シンプルな総2階建てで断熱・気密の基本性能を確保し、除雪の労力を軽減する無落雪屋根とアプローチ兼用のカーポートを配置した。内外の仕上げには自然素材を多用して、健康で長く住める家となるよう配慮した。外装材、設備機器等はメンテナンス性を考慮して選択・配置した。



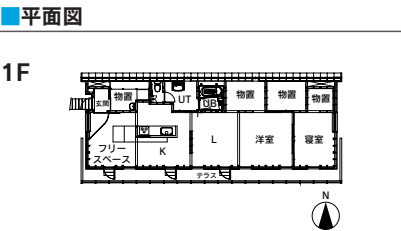
応募作品 NO 9



■住宅の概要		
所在地	芦別市	敷地面積／323.45㎡
設計者	／Sa design office 一級建築士事務所	延べ床面積／96.92㎡
施工者	／ぱれっとホーム (越智建設(株))	構造・階数／木造1階建
家族構成／大人2人 子ども2人		

■設計趣旨

家族4人が暖かく、仲良く暮らす平屋の住宅です。家族のライフサイクル、ライフスタイルを考え大きなワンルームのような家になりました。また、外張り断熱により内装は構造材、現しとし、ローコストに配慮しています。南には大きな軒を設け、冬場の雪への配慮を行っています。冬の季節風が厳しい北側には屋根を基礎まで延ばし、雪を「かわす」対策を行いました。



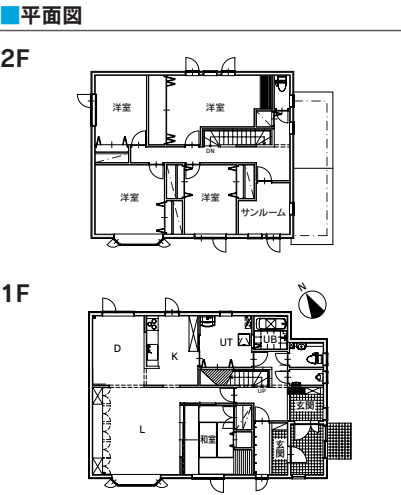
応募作品 NO 10



■住宅の概要		
所在地	幌加内町	敷地面積／1567.5㎡
設計者	／(株)石山工務店 Studio.I 一級建築士事務所	延べ床面積／178.44㎡
施工者	／(株)石山工務店	構造・階数／木造2階建
家族構成／大人2人 子ども3人		

■設計趣旨

地域特有の落雪・吹きさらし・外気温・周囲景観を考慮して外部動線、配置、窓位置、工法、屋根形態を決定しました。特徴的な工法には高耐久・高気密を両方にしました。内部は農作業・来客用との玄関を2つに分け、水回りに最短で行ける動線と回遊式を採用しました。稲穂の稔りがあるころの外観は周囲に溶け込むと考えています。



応募作品 NO 11

■住宅の概要

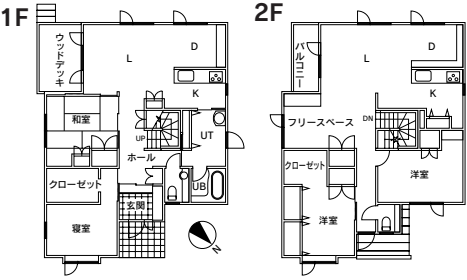
所在地／旭川市	敷地面積／277.63㎡
設計者／(株)那知組設計事務所	延べ床面積／175.31㎡
施工者／(株)那知組	構造・階数／木造2階建
	家族構成／大人3人 子ども1人



■設計趣旨

一人暮らしをしていた母と、私、妻、長男（小学2年）での二世帯住宅で、母が1階に私たちが2階に居住することで設計に入りました。今までの家は築30年以上前の古い建物の為、日照も悪く冬がとても寒く住みづらい家でしたので設計段階には、1、2階ともにリビングの配置の事や一日中、日照が得れるように東側と南側に大きめ窓を設置する事に配慮しました。それと母が高齢な為、将来の事も考えて車椅子でも充分に対応出来るよう、バリアフリー化で家全体を配慮しました。又、1、2階とも木製バルコニーを設置し、家族がくつろげる空間造りにも工夫をこらしました。

■平面図



応募作品 NO 12

■住宅の概要

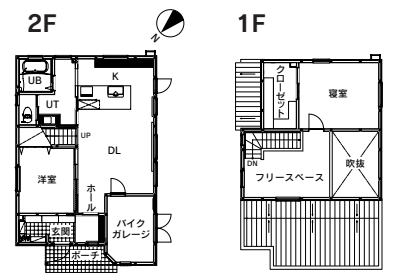
所在地／旭川市	敷地面積／272.50㎡
設計者／(株)カワムラ	延べ床面積／114.37㎡
施工者／(株)カワムラ	構造・階数／木造2階建
	家族構成／大人2人 子ども0人



■設計趣旨

夫婦がいつも存在を感じられ、また夫婦それぞれで友人を招いても楽しめるオープンな間取りです。また趣味のバイクも冬期間でも整備ができる快適なお部屋も設けました。

■平面図



応募作品 NO 13

■住宅の概要

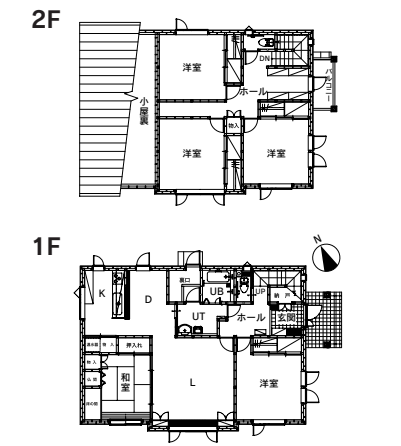
所在地／旭川市	敷地面積／2132.99㎡
設計者／(株)橋本川島コーポレーション	延べ床面積／166.69㎡
施工者／(株)橋本川島コーポレーション	構造・階数／木造2階建
	家族構成／大人5人 子ども0人



■設計趣旨

建主様から「とにかく暖かい家にしてほしい」との要望に応え、当社初の試みである高性能GW16kgを使用した200mm断熱とした。また、ご高齢のおばあさんのために、トイレやお風呂の位置、内部手すりやベンチなどの設置に配慮した。3世帯のプライバシー確保も重視した。

■平面図



応募作品 NO 14

■住宅の概要

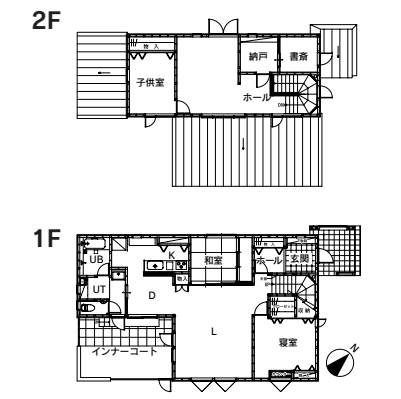
所在地／旭川市	敷地面積／313.33㎡
設計者／(株)橋本川島コーポレーション	延べ床面積／141.61㎡
施工者／(株)橋本川島コーポレーション	構造・階数／木造2階建
	家族構成／大人2人 子ども1人



■設計趣旨

住宅は性能が全てではありません。もちろん次世代エネルギー基準を満たしている事は最低条件です。ですが、本当に暮らし方を考えるとき敷地に住宅をどう配置するか、通風を確保し、雪の処理を考慮し、冬は昼間の光を取込み、夏は西日をさける。そういったことを抜きに住宅の配置を考えてはいけないと思います。

■平面図



応募作品 NO 15

■住宅の概要

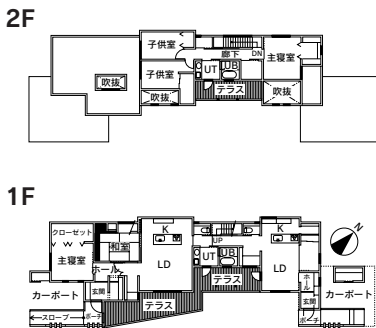
所在地／旭川市	敷地面積／396.61㎡
設計者／柳雅人建築設計工房	延べ床面積／265.88㎡
施工者／(株)橋本川島コーポレーション	構造・階数／木造2階建
	家族構成／大人4人 子ども1人



■設計趣旨

住まい方、暮らし方がとても難しい二世帯住宅。領域をどう分離し、空間をどう共有していくのかが大きな課題であった。敷地が細長く、前後に道路と接しているため、それぞれの道路よりアプローチさせ、中央に水回りを挟み領域を分離するとともに、その水回りから連続する屋外空間のバルコニーを上下に配置し、お互いの空間を共有させることにより、二世帯で暮らす事の意義をみつけ出してほしいと願った。

■平面図



応募作品 NO 16

■住宅の概要

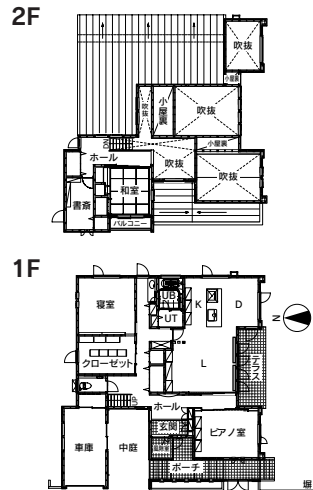
所在地／旭川市	敷地面積／386.17㎡
設計者／(株)カワムラ	延べ床面積／182.75㎡
施工者／(株)カワムラ	構造・階数／木造2階建
	家族構成／大人2人 子ども0人



■設計趣旨

リゾート気分にする空間構成をメインに生活動線まで配慮したゾーニング。宅地とは思えないロケーションと中二階の和室。2次元での使い易さと3次元での開放感と遊び心。やさしい時間を過ごせる建築を目指しました。

■平面図



応募作品 NO 17

■住宅の概要

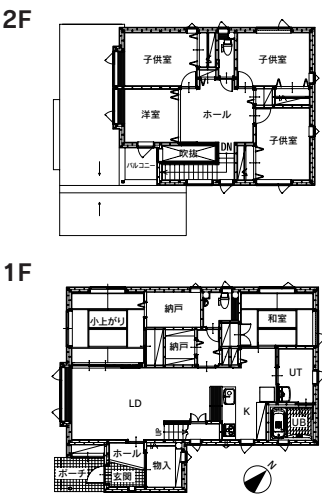
所在地／旭川市	敷地面積／297.54㎡
設計者／(株)橋本川島コーポレーション	延べ床面積／157.85㎡
施工者／(株)橋本川島コーポレーション	構造・階数／木造2階建
	家族構成／大人2人 子ども3人



■設計趣旨

このお宅は、特に長寿命をテーマに設計しました。お客様から断熱と外装材は高性能なものを、とのご要望を受け、断熱は外壁で200mm、外装材はセラミックコートの窯業系サイディング+高性能シーリングを採用しました。高い耐久性はそのまま維持管理の容易さにつながります。

■平面図



応募作品 NO 18

■住宅の概要

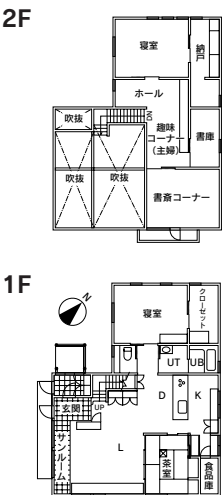
所在地／留萌市	敷地面積／278.75㎡
設計者／(株)吉田建設	延べ床面積／181.76㎡
施工者／(株)吉田建設	構造・階数／木造2階建
	家族構成／大人3人 子ども0人



■設計趣旨

日本海に面した留萌地方の卓越風による吹雪に配慮した配置とし、柱、梁出し架構のオール真壁造りとした。窓を出来る限り大きくし、四季折々の変化を楽しみ、夏は開放、冬は閉鎖でき生涯ともにしていく住まいを目指した。

■平面図



応募作品 NO 19

■住宅の概要

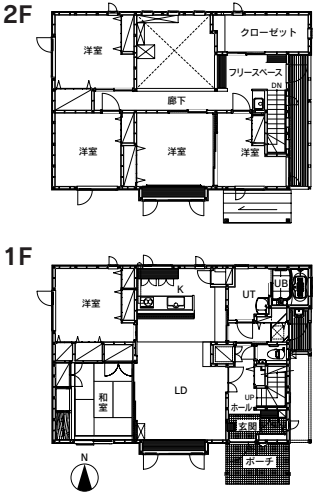
所在地／小平町	敷地面積／1910.21㎡
設計者／(株)カワムラ	延べ床面積／165.88㎡
施工者／(株)カワムラ	構造・階数／木造2階建
	家族構成／大人4人 子ども2人



■設計趣旨

暖かい家を最重視し、周囲が田園なので外観はあまり派手にせずシンプルに切妻屋根としたが、少しおしゃれにウッドデッキを備え、間取りは家族の居住中心をダイニングキッチンとし、キッチンを明るくするため開放感のある吹き抜けにしました。また、農家ということもあり、収納も出来る限り備え付けることにしました。

■平面図



応募作品 NO 20

■住宅の概要

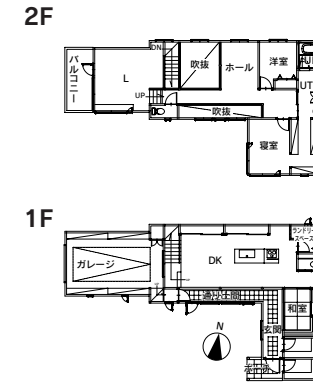
所在地／北見市	敷地面積／253.81㎡
設計者／(株)千葉工務店	延べ床面積／175.09㎡
施工者／(株)千葉工務店	構造・階数／木造2階建
	家族構成／大人2人 子ども0人



■設計趣旨

空間のある家で、家族が集まる場所はキッチン（食堂）です。中2階の窓からは山を望む事ができます。

■平面図



応募作品 NO 21

■住宅の概要

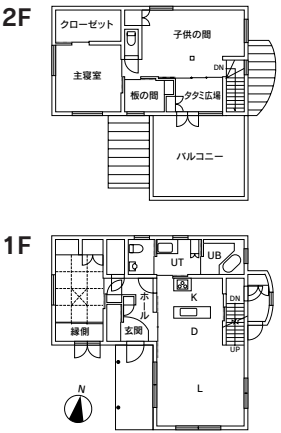
所在地／音更町	敷地面積／274.14㎡
設計者／(有)設計工房アーバンハウス	延べ床面積／145.50㎡
施工者／(有)河瀬技研工業所	構造・階数／補強コンクリートブロック造
	地上2階、地下1階
	家族構成／大人2人 子ども2人



■設計趣旨

帯広の北、十勝川を挟んだ筋向いの音更町。古くからのたたずまいを残す静かな住宅地として知られる鈴蘭団地。昭和40年代に分譲された三角屋根の文化住宅で育った施主夫婦。終の住処もためらいなくC Bを選択、C B 2重積と、ツーバイフォーというハイブリットな構造に、北方型という付加価値をさらに追求。未永く住め、子ども達との生活を育む為の空間。家族の為の安心、安全が今形となり、夢の現実となる。

■平面図



■凡例

L：居 間（リビング）
D：食 堂（ダイニング）
K：台 所（キッチン）
UT：脱衣所等（ユーティリティー）
UB：浴 室（ユニットバス）



Ⅲ 参考-北方型住宅サポートシステム

北方型住宅

北方型住宅の専用サイトです。すべてはこのアドレスから始まります。

http://www.kita-sumai.com

●メールで北方型住宅に関する質問をすることができます。

●北方型住宅サポートシステムWeb版はこちらから

●イベント、セミナー、講習会など北方型住宅の最新情報を紹介しています。

●施工現場を見に行こう！北方型住宅の現場見学会をご案内しています。

●新しい北方型住宅をつくった実績のある業者さんを公開しています。

●BIS、BIS-Eの資格を持つ技術者がいる企業を紹介しています。



●家づくりの参考に！実際に建てられた北方型住宅を解説付きで紹介しています。

●北方型住宅のすべてが分かる「解説書」などの資料をダウンロードできます。

●見て学ぼう！DVD「建てるなら北方型住宅」がご覧いただけます。

●聞いて学ぼう！多彩なゲストが家づくりを語る！ラジオ「教えて！北方型住宅」を試聴できます。

●読んで学ぼう！家づくりマガジン「建てるなら！北方型住宅」を公開しています。

●北海道新聞HP「住ビタ」に連載！「建てるなら！北方型住宅」が読めます！

●ペーパークラフトや紙飛行機づくりが楽しめます。

北方型住宅サポートシステム

初めて北方型住宅サポートシステムを使うとき

北方型住宅サポートシステムは、会員登録された方であれば、どなたでも自由にお使いいただけるフリーソフトです。

まずは会員になりましょう

新規会員登録はこちらからをクリック

会員登録の手順

①この画面下の「システム利用規約」を閲覧したあとで必要事項をすべて入力し「申請」をクリックします。

②その後確認画面が表示されます。間違いがないか確認して「この情報で登録」をクリックします。

③しばらくすると登録したメールアドレスに会員登録を受け付けましたというメールが届きます。

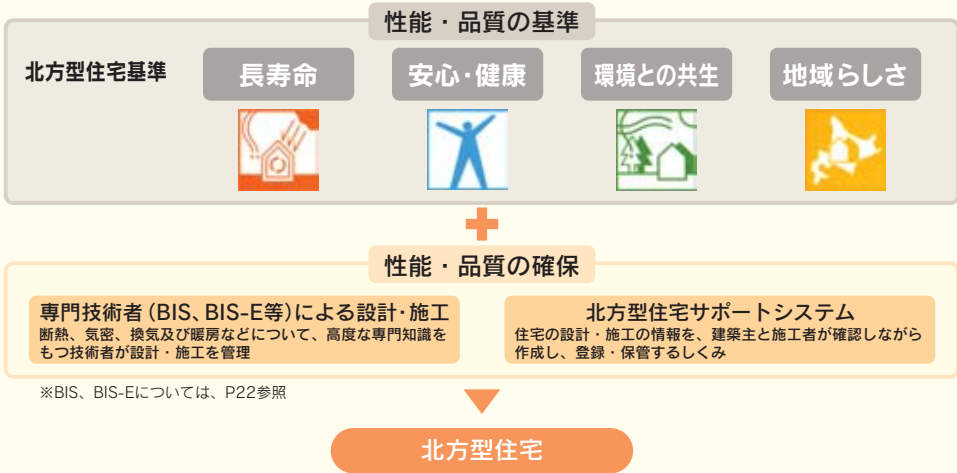
④そこには北方型住宅サポートシステムにログインするためのID及びパスワードが記載されております。

⑤そのIDとパスワードを入力すると北方型住宅サポートシステムにログインできるようになります。

⑥ログイン後、パスワードの変更が可能です。



「北方型住宅のしくみ」とは、



「北方型住宅サポートシステム」とは、

200以上ある家づくりのチェック項目をパソコンソフトが自動判定してくれ、施工写真などをわかりやすい報告書にしてくれる家づくりの強い味方です。

メリットは

- ①品質の確保………プランや仕様が北方型住宅の基準を満たすことで、高い性能と確かな品質を備えた住宅になります。
- ②工事過程の記録…設計どおりに工事が進んでいることを、写真などに記録していくため、施工による品質の不安がなくなります。また、このシステムには建築主の閲覧機能がついているので、建築主にも工事の進捗状況を確認してもらうことができます。
- ③資産価値の維持…性能・仕様・工事の記録が保管され、メンテナンスやリフォーム時に役立ちます。

北方型住宅として登録されると性能が高い住宅であることが認知され住宅ローンの金利の優遇※1が受けられます。

※1 優遇金利については取扱い金融機関にご確認下さい。また、フラット35Sの技術基準とほぼ同様となっています。



北方型住宅サポートシステム活用のQ & A

よくある質問

Q：北方型住宅サポートシステムを活用すると？

A：北方型住宅サポートシステムを使用すると住宅の情報を解りやすくまとめた報告書ができます。また、住宅の資産価値を長持ちさせるには、適切な維持管理が必要です。そのため図面や使用材料などの住まいのデータが保管されていると将来は、無理、無駄のないリフォームへもつながります。

Q：施工の内容はどのようにチェックするのですか？

A：工事の内容は竣工までに施工状況報告シートで計5回報告されることになっています。段階ごとに、しっかりチェックすることができます。

シートの種類は

①基本シート、②基準シート、③施工計画シート、④施工状況報告シート、⑤施工状況チェックシート、⑥その他のシート

①～④は北方型住宅サポートシステムに情報を入力し、シートを作成します。

⑤は、北方型住宅サポートシステムよりシートを印刷。施工現場へ持参し、施工状況のチェックに使用します。

⑥は、a維持管理シート、b修繕履歴シート、c施工業者連絡シート、d予備シートです。

aは、北方型住宅サポートシステムに情報を入力しシートを作成します。

b、cは、建築主さんが手書きで記録を取るシートです。活用方法を建築主さんに説明しましょう。

dは、各施工業者さんが独自の情報提供を行うためのシートです。

詳細は北方型住宅サポートシステム報告用シート活用マニュアルをご覧ください。

Q：施工写真の画像の大きさは？

A：デジタルカメラで撮影した画像サイズは、500KB程度（縦480ピクセル×横640ピクセル）にダウンサイズすることをお勧めします。写真のポイントは54項目です。そのうち必須の写真は、以下のとおり15カ所です。

①敷地全景、②基礎配筋、③屋根の下ぶき材、④屋根葺き材、⑤外壁外装（窓まわり）、⑥断熱（壁）、⑦断熱（天井または屋根）、⑧取り合い部の気密（外壁と最下階床）、⑨取り合い部の気密（外壁と中間階床）、⑩取り合い部の気密（外壁と屋根直下天井）、⑪取り合い部の気密（開口部まわり）、⑫取り合い部の気密（配管貫通部）、⑬取り合い部の気密（配線貫通部）、⑭建材のホルムアルデヒド放散等級、⑮竣工、※⑭については、該当する建材を使用している場合のみ。

詳細は、「施工写真撮影要領」をご覧ください。

「BIS」とは、

Building Insulation Specialist の略語で断熱施工技術者のことです。

平成元年から始まった資格で住まいの断熱、気密、換気、暖房等に関して、高度な専門知識を有し、正しい設計、精度の高い施工方法等を指導できる技術者のことです。

また、BIS-E（ビス・イー）とは、住宅等の適切な断熱・気密施工技能を有し、これを指導できる技術者のことであり、BISとBIS-Eの両方を持っている技術者はBIS-M（ビス・マスター）と呼ばれます。

なお、北方型住宅では、「設計はBIS」、「施工はBIS-E」の有資格者が行うことを義務づけし、設計性能と実性能の品質確保を図っています。

* 建築主の方へのアドバイス

BISやBIS-Eの資格は高い技術力を持っているという証です。ですから、この資格を持った技術者がいるかないかは、業者の技術力を知る上での一つの目安になります。（この資格は3年に一度の更新制です。）

施工会社にBIS、BIS-Eの有資格者がいるか確認してみましょう。



気密測定

北方型住宅の登録・保管

(財)北海道建築指導センターは、北方型住宅の登録・保管機関です。

10年間設計・施工の記録を保管します。

また、10年目以降も更新料を支払えば、継続して保管することができます。

登録保管申請の方法

1.北方型住宅サポートシステムの左画面メニューより「登録・保管申請する」をクリック、登録・保管申請書を印刷し、内容確認のうえ申請者（建築主）、及び保管者（設計者又は施工者）が押印します。（※詳細は北方型住宅サポートシステムのトップページ「登録・保管申請の方法」をご覧ください）

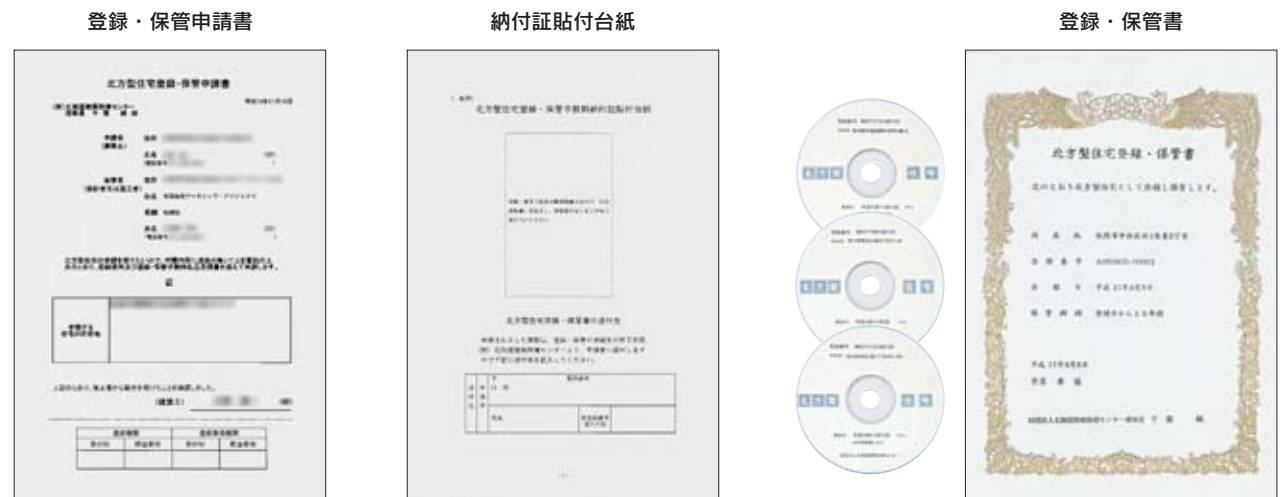
2.登録・保管申請手数料を郵便局より、お振り込みください。
☆一件あたりの手数料（消費税込み）¥9,450
☆振込先 郵便局 口座番号 02710-2-75911
☆加入者名は、(財)北海道建築指導センターと記入願います。
（振り込みの際は、お手数ですが郵便局に備え付けの「払込取扱票」をご利用ください）

3.登録・保管申請書及び郵便振替受領証（写し）を納付証貼付台紙に貼付のうえ、当センターまで送付してください。

＊登録・保管書の発行には、手数料の入金確認ができてから、5営業日かかります。

その後、登録・保管書およびC Dの発送となりますので、登録・保管書がお手元に届くまでに1週間から10日程度必要となります。

営業日：月曜～金曜、(9：00～17：00)、土・日・祝日・年末年始は休み



「BIS」とは、

Building Insulation Specialist の略語で断熱施工技術者のことです。

平成元年から始まった資格で住まいの断熱、気密、換気、暖房等に関して、高度な専門知識を有し、正しい設計、精度の高い施工方法等を指導できる技術者のことです。

また、BIS-E（ビス・イー）とは、住宅等の適切な断熱・気密施工技能を有し、これを指導できる技術者のことであり、BISとBIS-Eの両方を持っている技術者はBIS-M（ビス・マスター）と呼ばれます。

なお、北方型住宅では、「設計はBIS」、「施工はBIS-E」の有資格者が行うことを義務づけし、設計性能と実性能の品質確保を図っています。

* 建築主の方へのアドバイス

BISやBIS-Eの資格は高い技術力を持っているという証です。ですから、この資格を持った技術者がいるかないかは、業者の技術力を知る上での一つの目安になります。（この資格は3年に一度の更新制です。）

施工会社にBIS、BIS-Eの有資格者がいるか確認してみましょう。

北方型住宅の各問い合わせ先

北方型住宅全般に関すること

北海道建設部 住宅局 建築指導課 建築企画グループ

TEL:011-231-4111(内線29-471)

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/ksd/index>

北方型住宅の技術に関すること

北方建築総合研究所居住科学部住生活科

TEL:0166-66-4224

<http://www.hri.pref.hokkaido.jp/>

BIS、BIS-Eの認定に関すること

(社)北海道リフォームセンター

TEL:011-219-1250

<http://www.h-reform.net/>

北方型住宅の登録・保管に関すること

(財)北海道建築指導センター 指導部

TEL:011-241-1893

<http://www.hokkaido-ksc.or.jp/>